

平成30年度探究科1・2年生行事予定及び
平成31年度3年生の主な予定

下関西高等学校探究科 Q & A

平成30年度

下関西高等学校 探究科



「探そう未来、究める個性」

～今、あらたな学びが始まる～

探究科

人文社会科学科

自然科学科

○ 地理・歴史や英語などの文系分野を中心として専門性の高い学習に重点を置く。
→ 文・国際・法・政治・経済・商などの学部への進学に対応

○ 数学や理科などの理系分野を中心として、専門性の高い学習に重点を置く。
→ 理・工・農・医・歯・薬・保健などの学部への進学に対応

月	探究科独自の研修・行事		進路関係行事他 (赤字は探究科に関するもの)
	1年次	2年次	
4	「西高海峡ディスカバリー」(探究科オリエンテーション)を開催 「基礎探究」ガイダンス 「情報」開講(情報活用力の育成に向けた講座 全9回)	「発展探究」ガイダンス② ※ 課題研究に向けて、年間計画を立案	
5	「教科基礎」を開講 ※ 国語、地歴・公民、数学、理科(物理、化学、生物)の6講座から3講座を選択して受講 ※ 「英語を活用するための講座」開始(ディベートの実践など全3回) 学科選択説明会	講演「課題研究の進め方」 ※ 大学の先生による指導 人文社会科学科:津田塾大学 自然科学科:山口大学	「アドバンスセミナー」を開講(2年 全12回)
6	「夏休みディスカバリープロジェクト」ガイダンス	グループに分かれて研究開始	旭陵文化講演会 進路講演会
7	「外務省連携講座」を開催	「課題研究中間報告会」に向けた準備	下西・小倉・東筑合同勉強会
8	「夏休みディスカバリープロジェクト」 ※ 下関市及びその周辺の施設を訪問し探究活動を実施		九大オープンキャンパス参加 東大見学会 大学セミナー
9	「夏休みディスカバリープロジェクト」発表会を開催	「課題研究中間報告会」を開催	「アドバンスセミナー」を開講(1年 全10回) 進路講演会
10			
11	九州大学共創学部を訪問 ※ 探究力を身に付けるための講座を受講	広島大学情報科学部を訪問 ※ 科学的にデータを扱う方法についての講座を受講	キャリアセミナー
12	「JAXA連携講座」を開催 「発展探究」ガイダンス① 「小論文講座」を開始(論理的文章の書き方講座 全6回)		
1		「課題研究発表会」に向けた準備	
2	課題研究発表会を参観(「発展探究」の発表会を参観)	「課題研究発表会」を開催	探究科推薦入学試験
3	「発展探究」の研究グループ分け及びテーマを設定	「探究学習成果発表大会」に参加	学力検査 下西・小倉・東筑合同勉強会

Q1 探究科を設置したのは、なぜですか。

A 国が進めている教育改革では、主体的・協働的に探究する学習の重要性が指摘されています。また、「大学入学者選抜改革」では、今のセンター試験に代わる「大学入学共通テスト」を、平成32年度から実施することとしています。現在の高校1年生から対象となりますが、一部大学の個別学力試験ですすでに改革が進んでいる状況もあることから、それらに的確に対応するとともに、本校の新たな特色にしたいと考えました。また、探究科を設置することが、学校の活性化と更なる魅力づくりを進めることができると考えています。

Q2 「人文社会科学科」と「自然科学科」の違いを教えてください。

A 「人文社会科学科」は、国語や地歴・公民の文系分野、「自然科学科」は、数学や理科等の理系分野に関する専門性の高い学習に重点を置く学科です。両科ともに、探究的な活動を積極的に展開することや専門教科英語を学ぶことなどを特色としている点は同じです。

Q3 探究科を第一志願、普通科を第二志願とした場合、選抜の合否判定において不利になることはありませんか。

A 探究科では、探究活動に加えて、難関大学・学部を目指すためにより発展的な学習を行うこととしています。本校を受検しようと考えている中学生の進路のニーズにしたがって探究科、普通科をそれぞれ志望してもらいたいと考えていますが、難関大学・学部を目指し、探究科の教育活動に意欲的に取り組もうと考えている中学生の皆さんは、第一志願を探究科、第二志願を普通科として出願してほしいと思います。なお、探究科を第一志願として、それが不合格になった場合に、第二志願の普通科の選抜においても、山口県公立高等学校入学者選抜実施要領に沿って、公平・公正に選抜を行います。

Q4 探究科における英語の学習には、どのような特色があるのですか。

A 大学入試改革にもつながる英語4技能(話す、書く、聞く、読む)の向上を目指した指導を積極的に行います。また、4技能の力を客観的に評価するために、大学入試だけでなく、大学での教育にも外部検定試験を活用することが想定されており、学校単位で探究科全員の検定試験受験を推進し、資格取得や英語の学力向上を目指します。

Q5 「アドバンスセミナー」とは、何ですか。

A 難関大学・難関学合格のための応用力育成を目的として、1年次生は2・3学期を中心に10回、2年次生は通年で12回、開講します。内容は、本校教員による問題演習に加え、外部講師による実践演習を行います。

Q6 探究科の校外研修は、どのような内容ですか。

A 探究科では、海外等での校外研修(修学旅行)を計画しています。現地では、将来のグローバル人材の育成に向けて、語学研修や企業・大学等での研修を行うなど、普段の学習ではできない体験学習に取り組めます。なお、平成30年度の研修先は、シンガポールやマレーシアで、研修費用はおよそ15万円です。

御質問や詳細に関するお問い合わせ先

※ 教頭または教育企画部に連絡してください。
山口県立下関西高等学校 全日制 探究科(人文社会科学科・自然科学科)
〒751-0826 山口県下関市後田町四丁目10-1
Tel 083-222-0892 Fax 083-222-0899



3年 英語による研究レポートの作成
学会・大学等が主催する高校生セッションにおいて、「発展探究」の研究発表を
様々な教科の研究課題を実践的に解決

育てたい生徒像

- ① 広い視野と深い知識をもち、変化の激しい社会において自ら真理を追究し、主体的に判断し行動できる生徒
- ② 豊かな人間性を備え、多様な人々と協働できる生徒
- ③ 理想を実現しようとする高い志や学び続ける意欲をもち、よりよい社会と幸福な人生を自ら創り出すことができる生徒

探究科の特色

- ① 探究的な活動を進める科目の設定により、探究力や情報活用力等を育成
- ② 各科目において探究的な活動を取り入れ、より深い学び、発展的な学習を展開
- ③ 理数・英語において専門科目を開設し、より高度な学習を展開
- ④ ゼミ形式の授業や自ら課題を設定し研究する学習（課題研究）、フィールドワーク等の体験的な活動、大学との連携した取組等の多様な学習形態を導入
- ⑤ グローバル人材の育成を目的にした海外研修旅行等による異文化体験を実施



多様な学び

高い志や学力と幅広い教養、真理を追究する態度を育むとともに、将来国際社会で活躍する、グローバル人材を育成するため、多様な学びの機会を提供します。



海外出身者との交流



大学出張講義
「イギリス文学入門」



大学出張講義
「X線による構造解析」



JAXAによる課題解決学習



大学での体験実習



博物館での研修

探究活動

1年次



西高海峡ディスカバリー

西高海峡ディスカバリー

下関市唐戸地区の史跡や施設を訪問し、探究的な視点から地域を見つめなおします。

夏休みディスカバリープロジェクト

下関市やその周辺地域の事物・現象に触れながら、課題解決に取り組みます。

基礎探究

すべての生徒が、国語、地歴・公民、数学、理科、英語等、様々な教科の探究活動を体験することにより、幅広い知識や技能と「発展探究」で必要となる力の基礎を身に付けます。さらに、英語によるディベートや、情報活用力を育む授業等により、探究活動の基礎となる資質や能力を育みます。



化学
カイロをつくらう



物理
物理計測入門



公民
身近なニュースを調べよう

2年次



探究活動の様子

発展探究

生徒自身が設定したテーマについて、グループで探究活動に取り組みます。基礎探究で身に付けた探究力を働かせながら、課題を解決することにより、生徒一人ひとりがより深い知識や技能を身に付けます。

大学訪問

広島大学等を訪問し、データサイエンスの視点から課題研究の進め方、まとめ方について直接指導を受けます。

課題研究発表会

すべてのグループが校内で行う中間報告会や課題研究発表会で、研究成果を発表します。さらに、優れた研究を行ったグループは、山口県内の探究科や理数科等の生徒が集まる発表会で、研究成果を披露します。



山口県内の高校生に研究成果を披露



3年次

発展探究のまとめと英語の活用

2年次に各グループが取り組んだ発展探究の成果を論文にまとめます。その際、英語による論文の作成にも挑戦します。



課題解決的な学び

実践的な課題解決学習

発展探究で身に付けた課題解決力を基にして、より実践的な学習に取り組みます。

全国に向け課題研究の成果を発表

発展探究で取り組んだ課題研究の成果を山口県内外で行われるさまざまな発表会で披露します。発表に併せて、全国の高校生と交流します。



中国・四国・九州地区理数科
高等学校課題研究発表大会

探究科のねらいと学習活動

未来社会を切り拓く資質 や能力を身に付けた人材

- 社会の激しい変化の中でも何が重要かを主体的に判断できる人材
- 多様な人々と協働していくことができる人材
- 問題を解決に導き新たな価値を創造していくことができる人材

未来を拓く次代のリーダーを育成
大学入学者選抜改革への的確な対応

大学入学者選抜改革

- 【大学入学共通テスト】平成32年度～
 - 思考力・判断力・表現力をよりよく評価できるものにする。
- 【個別大学の入学選抜】
 - 主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を重視する。

新しい時代に求められる 探究力の育成

- ◆主体的・対話的で深い学びが実現された学習活動の展開

情報活用力・表現力等の向上

- ・大学でのデータサイエンス研修
- ・校内外での研究発表
- ・大学や学会などが主催する発表会

グローバル人材の育成

- ・シンガポール・マレーシアにおける校外研修
- ・留学生等との交流
- ・国際社会で活躍する方による講演

東大見学会、合同学習会

- ・官公庁・企業訪問、大学生との交流会
- ・他県高校生との合同学習

体験学習

- ・大学や博物館、史跡等、地域の教育資源を生かした学習

探究活動
未知の課題を解決し、あらたな知を生み出す学習

大学等での学修の基盤 となる学力の育成

- ◆それぞれの教科の学習において、協働的・課題解決的な活動を充実

知識の活用を目指す授業

- ・グループに分かれて取り組む協働的な学び
- ・知識を活用し、課題を解決する授業



アドバンスセミナーの実施

- 難関大受験対策 応用力の育成
- ・西高教員による問題演習
- ・外部講師による問題演習



資格試験の実施

- ・英語4技能の向上
- ・実践的な英語力の育成

ハイレベル模試の受験

- ・学習内容の定着度を把握

知識・技能の確実な習得